

ブレグジット(英国のEU離脱)ショック!  
エグジット(出口)戦略も考慮した積立投資を  
検証する。

商品企画部 松尾 健治  
窪田 真美

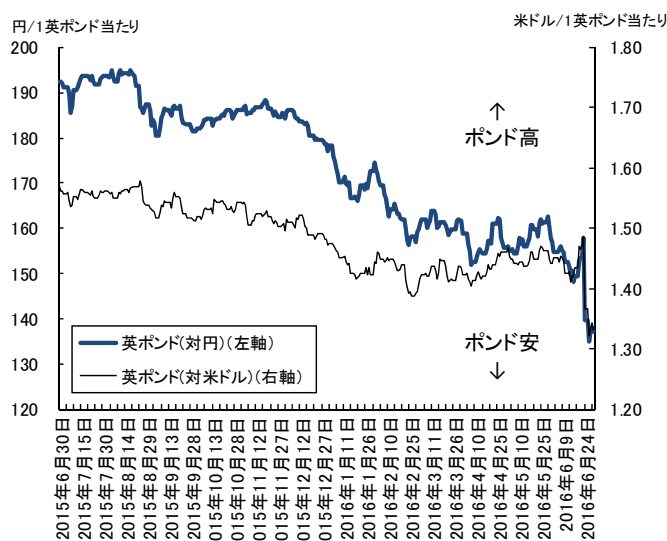
※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

**ブレグジット(英国の EU 離脱)ショックで為替・株式市場が揺れる中、積立投資は有効?**

英国国民投票(2016年6月23日実施)で「ブレグジット/Brexit(英国のEU離脱)」が決まり、市場が揺れ動いている(\*Brexit/ブレグジット…英国/Britainと離脱/Exitからくる造語、5月23日日本版ISAの道その141参照~URLは後述[参考ホームページ])。代表的な英国株指数である英FTSE100指数は6月24日に前日比-3.15%の6138.69と急落後、6月27日に続落(-2.55%の5982.20)となった。しかしその後6月28日に反発し始め、6月30日時点で6504.33と6月27日から+8.73%で2015年8月18日以来の高値となった。一方、英ポンドは対円で6月24日に前日比-11.44%と急落、1英ポンド=139.801円と2013年2月26日以来3年4カ月ぶり安値となった(\*6月27日に1英ポンド=134.898円と2012年12月13日以来3年6カ月ぶり安値)。対米ドルでも6月24日に前日比-8.05%の1英ポンド=1.3679米ドルと急落、1985年9月20日以来30年9カ月ぶり安値となった(\*6月27日に1英ポンド=1.3225米ドルと1985年9月12日以来30年9カ月ぶりの安値)。

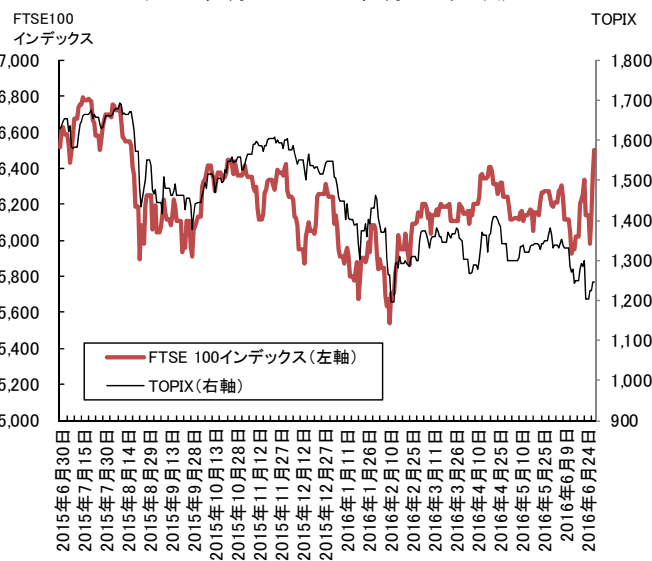


為替の推移  
(2015年6月30日~2016年6月30日、日次)



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信商品企画部が作成)

株式相場の推移  
(2015年6月30日~2016年6月30日、日次)



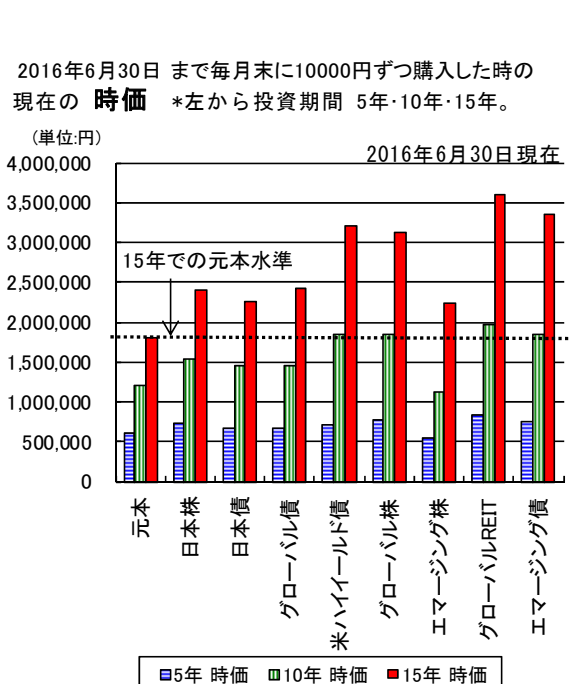
(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信商品企画部が作成)

ブレグジット(英国のEU離脱)ショックで為替・株式市場が揺れる中、(成人)NISA(少額投資非課税制度)やジュニアNISAでどう投資をしたら良いか迷っている人も少なくないだろう。今回は6月20日付日本版ISAの道145の予告通り(URLは後述[参考ホームページ])、長期積立投資(5年、10年、15年)を検証する。10年、15年ではリーマン・ショック(2008年9月15日)もブレグジットショックも含むものとなり、大いに参考となるものであろう。

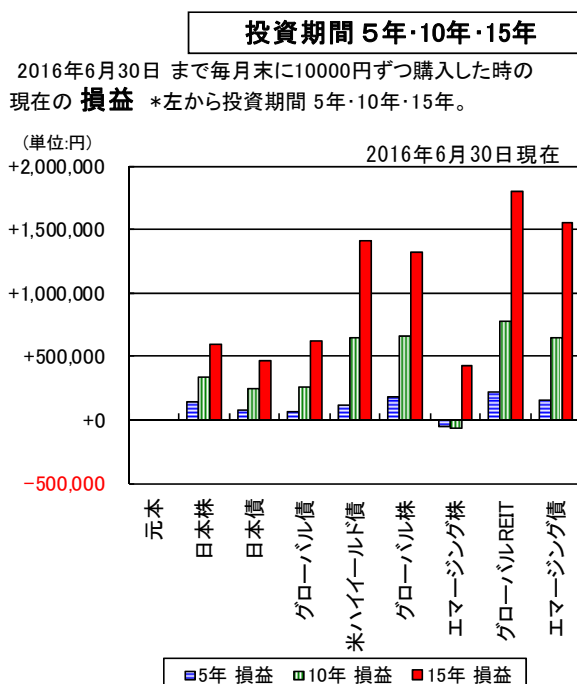
積立投資においてエグジット/Exit(出口)戦略がとて重要である。積立投資は一括投資の様な「投資時点と評価時点の2時点での市場次第」と言うリスクは軽減されるものの、「評価時点の市場次第」というリスクがあるからである(\*積立投資には積立期間内に市場価額が上昇・下落して平均投資単価が時価を上回って損をするリスクもある)。そこで今回は、投資信託で使われる主なベンチマークについてエグジット(出口)戦略も考慮した積立投資を検証する。

## ブレグジット(英国の EU 離脱)決定直後の 6 月末時点まで長期積立した結果は総じて利益となっている

まずエグジット(出口)時点をブレグジット(英国の EU 離脱)決定直後の 2016 年 6 月 30 日時点とした検証である。その時点まで 5 年・10 年・15 年の積立投資をしたとするもの(毎月 1 万円定額の積立。手数料等は無視)。下記グラフの左が時価で右が損益となる。



(出所:ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)  
\*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している(以下同じ)。



(出所:ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

投資期間 5 年・10 年・15 年いずれも、総じて利益の出ている事がわかる(エマージング株のみ 3 年・5 年で損失)。また、グラフで目立つのが投資期間 15 年であり、元本 180 万円に対し、グローバル REIT・エマージング債・米ハイイールド債・グローバル株が好成績に見える。

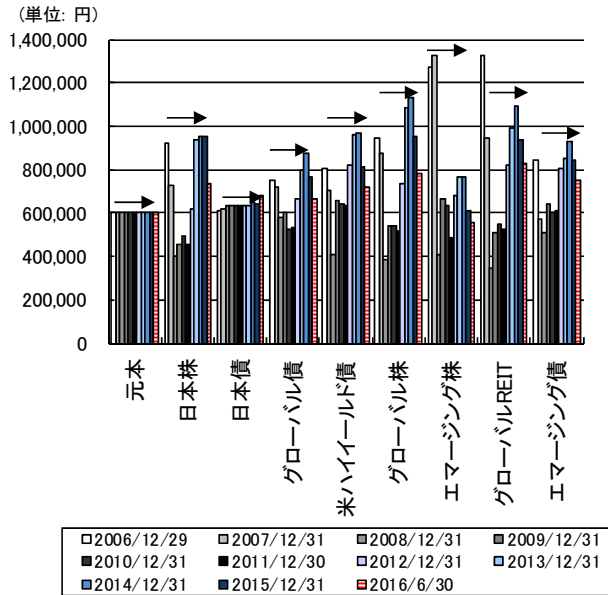
ここでエグジット(出口)戦略を考える。投資時期のリスクを考慮して時間分散をはかり積み立てしても、売却時点の状況により仮に投資期間が同じでも結果は異なるからである。株安時は尚更である。「特に成績が悪かったのは、積み立ての終了時期がリーマン・ショック直後になった区間。積み立ては後半になるほど投資額が膨らむため、投資をやめる時期の相場環境に結果が大きく左右される。」(2016 年 1 月 4 日付日本経済新聞電子版)とも言われている。

そこで 2016 年 6 月 30 日時点だけでなく、2006 年から 2015 年の各年末時点を加え、多様な時点で検証する(計 11 時点)。各時点まで 5 年、10 年、15 年、毎月 1 万円ずつ積立投資を行ったらというものである(左グラフが時価、右グラフが損益)。

**投資期間 5年**

毎月末に10000円ずつ5年間購入した時の **時価**

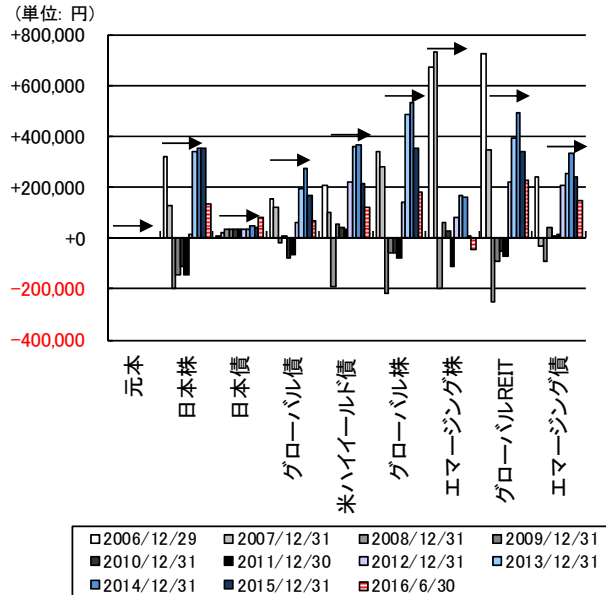
\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

毎月末に10000円ずつ5年間購入した時の **損益**

\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

上記の投資期間5年のグラフを見ると、グローバルREITやグローバル株、日本株は、リーマン・ショック後の2008年末から2011年末まで損失が続いていた。ただ2012年末に回復、2014年末にかけ利益が拡大した。エマージング債は2007年末と2008年末で損失、米ハイイールド債は2008年末に損失となっている。

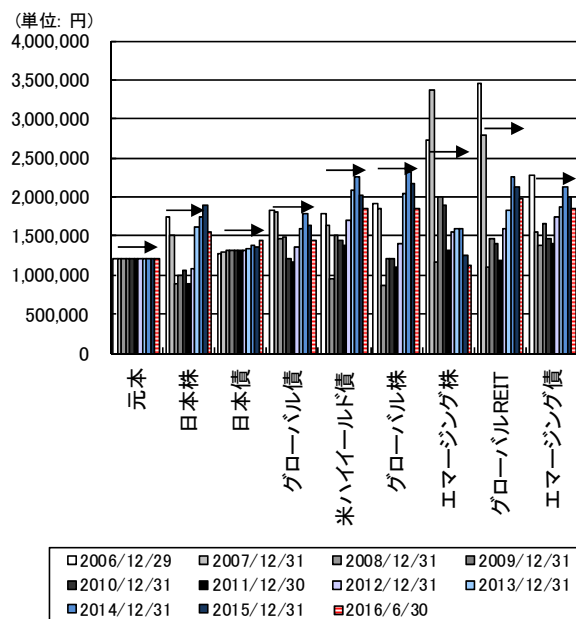
**総じて投資期間が長くなると、損失となる年が減り、損失額も小さくなっている**

下記グラフは10年である。上記5年に比べ全般的に黒字化している事がわかる。

**投資期間 10年**

毎月末に10000円ずつ10年間購入した時の **時価**

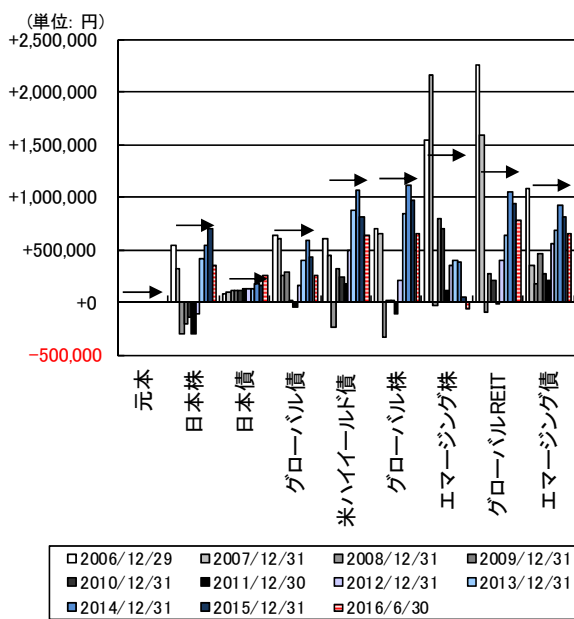
\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

毎月末に10000円ずつ10年間購入した時の **損益**

\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

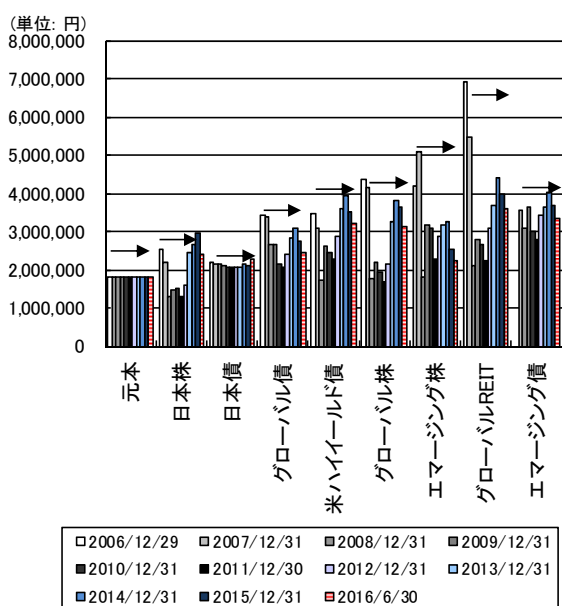
グローバル REIT とグローバル株は、投資期間 5 年では 2008 年末から 2011 年末まで損失だったが、10 年では、2008 年末と 2011 年末だけで損失である。エマージング債は 5 年では損失の時もあったが、10 年ではどの時点でも利益となっている。グローバル債は 5 年で 2008 年末・2010 年末・2011 年末で損失だったが、10 年では 2011 年末のみ損失となっている。総じて損失となる年が減り、損失額も小さくなっている。ただ、日本株は 2008 年末から 2012 年末まで損失だった。先の 5 年より損失年が増えている。

そして下記グラフは投資期間 15 年である。10 年と比べてより黒字化が鮮明となっている。

投資期間 15 年

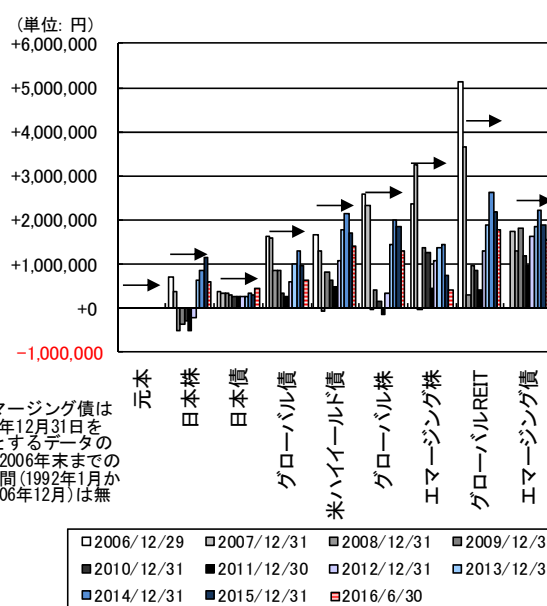
毎月末に10000円ずつ15年間購入した時の 時価

\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



毎月末に10000円ずつ15年間購入した時の 損益

\*左から2006年～2015年の各年末、2016年は6月末。



\*エマージング債は1993年12月31日を100とするデータの為、2006年末までの15年間(1992年1月から2006年12月)は無し。

(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信投資顧問株式会社商品企画部が作成)

いずれの時点でも利益、もしくは、見えないくらいの損失にとどまっている。この様にリーマン・ショックの様な相場暴落や、今回の様なブレグジット(英国の EU 離脱)ショックの中でも積立投資は良好な結果になっていると言えそうだ。

ここに掲載したリターンやリスクを参考に、ぜひ積立を検討してもらい、成人 NISA やジュニア NISA で資産形成の一助にしてほしいものである。

以上

[参考ホームページ]

2016 年 5 月 23 日本版 ISA の道 その 141「英国 EU 離脱(Brexit/ブレキジット)で大荒れ懸念もある中、英国の ISA ファンドは? 絶対収益型が今年になり人気化!」…「 [https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_160523.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_160523.pdf)」、

2016 年 6 月 20 日付日本版 ISA の道 145「NISA は今年 10 兆円へ!? ただ株の乱高下で非課税を放棄、損益通算も出来ない投資家もいる! こうした投資家を少しでも減らすのに有効な長期積立を NISA の実際の期間で検証!!」…

「 [http://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_160620.pdf](http://www.am.mufg.jp/text/oshirase_160620.pdf) 」、

2016 年 1 月 4 日付日本経済新聞電子版「積み立て投資は 10 年続けよ『勝率』は9割“完璧”安心老後のポートフォリオ」…「

[http://www.nikkei.com/money/column/nkmoney\\_tokushu.aspx?g=DGXMZO942345502011201500000](http://www.nikkei.com/money/column/nkmoney_tokushu.aspx?g=DGXMZO942345502011201500000)」。

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

### 本資料中で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。“FTSE®”はロンドン取引証券所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。